

2019年度「休眠預金等活用法」に基づく資金分配団体公募  
草の根活動支援事業 全国ブロック 採択事業

事業名 主題	当事者会のピアサポート支援事業	
事業名 副題	生きづらさを抱えた者に対する当事者活動支援事業	
団体名	社会福祉法人 中央共同募金会	
代表者名	会長	清家篤
解決すべき社会課題	1) 子ども及び若者の支援に係る活動;① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援; ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動;⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援	
事業の概要	「生きづらさ」を抱える人々の当事者会や家族会を全国に広げ、多くの同じような思いを抱えている人々同士の支え合いを通じて、「生きづらさ」を抱える人々がその人らしく幸せに暮らせる社会を構築することをめざして、当事者会や家族会の全国ネットワーク組織や、先駆的な当事者支援活動を実施する団体を対象に、当事者活動のネットワーク化、当事者活動を広げる人材養成、社会的認知を広げる事業、先駆的な当事者支援活動の展開等の取り組みに助成を行う。	
事業期間	3年	
助成額 (円)	助成金	48,000,000
	PO関連経費	23,848,182
	評価関連経費	5,225,000
	<b>合計</b>	<b>77,073,182</b>

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な助成経験とテーマの多様さ、全国をカバーできる体制を有している。近年の災害時におけるNPO・ボランティア団体への助成の創造と実施を鑑みて、目標に沿った実行団体の選定、伴走支援が期待できる。</li> <li>・本事業の目標「生きづらさを抱える人々を支える団体の支援・強化」と「当事者活動の拡大」は、今後の市民活動の一つの模範となりえると考えられ、波及効果も大きいと思われる。</li> <li>・既存の事業構造に留まった取り組みとならないようにネットワークを拡大すること、また、アウトカムとして形成された当事者の会等のネットワークも社会資源としてオープンなものにする等を期待したい。</li> <li>・それぞれの対象（ひきこもり、障害者、居場所のない若者など）にはそれぞれの課題がある。それらの当事者同士が助け合うことで、どれだけのソーシャルインパクトが創出できるのか、また、出口戦略について具体化していただきたい。</li> </ul>
--------	--

※審査コメントは、審査時点（2019年9月末）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2019年11月下旬）のものです。